

ごとうあきこ  
後藤 章子



庁舎建設を問う

**質** 庁舎建設の是非についてのアンケートの実施を。

**答** 企画部長  
財政は、厳しい状況ですが、現状の庁舎で10年、20年とそのままにできるのかといった問題もあります。

財源としては、合併特例債を活用するほかに財源のめどはありません。

「庁舎検討委員会」には基本的な方向性など、総合的な検討について諮問します。

新庁舎を建設することが定まった段階で市の考え方を市民のみなさんに説明し、意見・要望を承りたいと思います。

現段階でのアンケート実

施は、適当でないと考えます。

おがた病院の動向

**質** 医療供給体制の現状、救急、地域医療は。

**答** 病院事業管理者  
8月末に2名の常勤内科医が退職。このままでは内科外来のみならず、病棟の維持、救急医療の実施にも支障があります。

現在、病棟を診ることのできる常勤内科医師確保に全力を挙げています。



▲朝のミーティング（おがた病院）

※そのほかの質問  
学校給食問題



はしもとゆうすけ  
橋本 祐輔



病院の環境整備は

**質** 旧おがた病院の取り壊しと跡地利用、老朽化した医師官舎の取り扱い。

**答** 病院事業管理者  
病院の取り壊しと跡地利用は、市の管財係と連携を取りながら進めていきます。

跡地利用は、市の管財係と連携を取りながら進めていきます。

医師官舎は、医師確保の観点から、も、早急に移転したいが、財政状況が厳しく、さらに検討したい。

平成20年実施

**質** 認定子ども園の実現はいつになるのか。

**答** 保健福祉部長  
保育所の入所対象とならない児童の就学前の幼児教育・保育については、必要度の高い地域で平成20年度実施に向けて取り組みます。

保育所の入所対象とならない児童の就学前の幼児教育・保育については、必要度の高い地域で平成20年度実施に向けて取り組みます。

**質** 生活困窮世帯の実態把握を急げ。

**答** 保健福祉部長  
民生委員の協力を得て要保護世帯などの自立支援と世帯員の調査を進めます。

住民への情報提供は、憲法に保障された生存権である。



▲たのしい「手あそび」（大野ルンビニー保育園）

り、救貧制度を広報など通して周知を図りたい。

※そのほかの質問  
決算認定を9月定例会で出来ないか

